



校訓： 進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

# 英田っ子

学校だより 9月号

平成29年8月31日

校長 藤井恒雄

## 自分なりの花を咲かせよう

今年の夏は不安定な天気が続き、記録的短時間大雨情報が発令されることが多かったように思います。集中豪雨は、全国各所に甚大な被害を与えました。夏の暑さは8月終盤には幾分和らぎ、朝晩の涼しさや虫の声から秋の気配を感じる頃となりました。とは言え、再び暑さが戻ってくることも十分予想されます。今後も子どもたちの体調には十分気をつけていきたいと思ひます。



保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。1学期末に実施しました学校評価アンケートでは、お忙しい中、多数の回答、ご意見・励ましをいただきありがとうございました。アンケートは、よりよい学校運営を進めるために毎年実施しているもので、児童・保護者・教職員の三者によるアンケート等で行っています。結果については、後日学校だより等でお知らせする予定です。ご協力ありがとうございました。

今年の夏も世界的規模のスポーツ大会が多くありました。7月の世界水泳、8月に入って世界陸上、世界レスリング、世界柔道等と続いています。国内では、毎年恒例の夏の高校野球もありました。これらの大会期間、熱戦に歓声をあげたり家庭で話題に上ったりしたのではないのでしょうか。



ロンドンで開催された世界陸上の男子400Mリレーで日本(多田修平・飯塚翔太・桐生祥秀・藤光謙司<ケンブリッジ飛鳥も予選参加>)が銅メダルを獲得し、男子50km競歩でも前年のリオ五輪で銅メダル獲得した荒井広宙が銀メダル、小林快も銅メダルを獲得しました。津幡町出身の川井梨紗子がリオ五輪に続き世界選手権で金メダルを獲得。また、卓球では14歳張本智和がワールドツアーで史上最年少で優勝し、歴史的快挙を達成しました。共通するのは、「最後まで決して諦めない」「自分を信じて努力を続ける」ことの大切さを、競技に取り組む姿で示してくれたことではないのでしょうか。

さて、いい夏休みだったのでしょうか。家族と楽しく過ごす時間も多かったのではないのでしょうか。何より大きな事故やケガもなく無事登校できたことをうれしく思います。

今日から2学期です。2学期の目標は「自分なりの花を咲かせる」ことです。私たちが世界大会の選手とはいかないまでも、自分なりの花を咲かすことができます。それは1学期にできるようになったことやがんばったことをもとにして、さらに自分の力を付けていくことです。ロケットも燃料を燃やして上にあがるように、努力をしながらステップアップです。「花を咲かせる」を別の言葉で言い換えると、「今までできなかったことをできるようにする」「できることを増やす」ということです。そして、それは清しい行動や姿となって表れてくると思ひます。チャンスはたくさんあります。毎日の授業はもちろん、学校行事(運動会やマラソン大会、芸術鑑賞、学習発表会など)、学年行事(宿泊体験や遠足、校外学習など)での行動や姿です。「今日はいいや。明日にしよう」という弱い心に打ち勝って、毎日の目標をやり抜くことが大切です。目標に向かって努力を続けることが、自分なりの花を咲かせることとなります。そんな姿をいろいろな場面で見られることを期待しています。

2学期も、子どもたちの一層の健やかな成長に向け、全教職員が力を合わせて取り組んでまいります。保護者の皆様・地域の皆様の温かい眼差しと励ましの声かけをお願いいたします。学校では来週から運動会練習が始まります。規則正しい生活リズムで送れるようご家庭でのご配慮も併せてお願いします。

